

新潟歯学会学術賞 受賞者

年度		演者	所属分野	指導教員	発表演題名	発表
2018年	歯学会賞	永井康介	微生物感染症学分野	土門久哲	肺炎球菌性肺炎の病態発症メカニズムの解析と新規肺炎予防法への展開	総会
	奨励賞	長谷川泰輔	う蝕学分野	竹中彰治	口腔細菌叢を変動させない新しいバイオフィルム制御剤の開発	総会
2017年	歯学会賞	枝並直樹	う蝕学分野	吉羽邦彦	ラット臼歯断髄後におけるmyofibroblastの動態解析	総会
	奨励賞	中田樹里	歯科矯正学分野	柿原嘉人	ROCK阻害剤の骨代謝および矯正学的歯の移動への影響	第2回例会
2016年	歯学会賞	中島麻由佳	歯周診断・再建学	山崎和久	<i>Porphyromonas gingivalis</i> 経口単回投与によるマウス腸内細菌叢の変動	総会
	奨励賞	村上智哉	小児歯科学	齊藤 誠	Lymphoid enhancer factor-1 promoterを用いた乳歯歯髄幹細胞様細胞の単離	第2回例会
2015年	歯学会賞	北見公平	歯科矯正学分野	加来 賢	がん抑制遺伝子BRCA1の頭部顔面骨格形成過程における役割	第2回例会
	奨励賞	坂上雄樹	微生物感染症学分野	土門久哲	<i>Streptococcus mutans</i> に対する厚朴由来抽出物の殺菌ならびに抗バイオフィルム効果	総会

会 務 報 告

1. 新潟歯学会 会員数 (平成 31 年 1 月 7 日現在)
学内 235 名
学外 369 名
合計 604 名

2. 令和元年度 事業計画
学術集会
第 52 回総会 4 月 13 日 (土) 開催
第 1 回例会 7 月 13 日 (土) 開催
第 2 回例会 11 月 9 日 (土) 開催
新潟歯学会雑誌
第 49 巻第 1 号 6 月 21 日 (金) 発行
第 49 巻第 2 号 12 月 6 日 (金) 発行

3. 第 52 回新潟歯学会総会 議決事項および報告
(1) 平成 30 年度事業の報告
(2) 平成 30 年度会計決算報告, 会計監査報告
(3) 令和元年度事業計画案の承認
(4) 令和元年度予算案の承認
(5) 名誉会員の承認 (福島正義教授)
(6) 新潟歯学会賞・奨励賞受賞者の報告 (永井康介, 長谷川泰輔)

4. 理事会議決事項
資料に基づき今年度担当分野を下記のように決定した。
総会特別講演担当分野 生体組織再生工学分野
歯学会雑誌総説担当者 第 49 巻第 1 号 野杖由一郎教授
第 49 巻第 2 号 照沼美穂教授

5. 平成 30 年度決算および令和元年度予算 (別表)

6. 令和元年度 新潟歯学会 理事・幹事 (任期 平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日)
庶務担当 理事 魚島勝美 幹事 星名秀行, 加来 賢
会計担当 理事 大峽 淳 幹事 川崎麻依子
編集担当 理事 瀬尾憲司 幹事 田中 裕
集会担当 理事 高木律男 幹事 永田昌毅

新潟歯学会 平成30年度決算および令和元年度予算

平成30, 31年度会計担当 理事：大峽 淳
幹事：川崎真依子

収入の部	平成30年度決算	令和元年度予算	備 考
前年度繰越金	5,830,674	5,830,674	
会費収入	2,822,000	2,800,000	学外会員 369名 学内会員 244名 総会員数 721名
広告掲載料	102,500	100,000	H30年度歯学会誌掲載料
英文抄録利用料	8,208	5,000	科学技術振興機構 (JST)
複写使用料	68,065	50,000	学術著作権協会
預金利息	267	1,000	定期預金, 普通預金
その他の	0	0	
収入の合計	8,831,714	8,786,674	
支出の部	平成30年度決算	令和元年度予算	備 考
印刷費	1,709,915	1,500,000	第49巻1号, 2号, 総会・例会印刷物
通信費	199,890	300,000	会誌発送 第49巻1号, 2号, 総会, 例会プログラム発送, 演題募集ハガキ, 切手
総会, 例会関係費	401,230	500,000	特別講演会講師謝礼, 交通費, 名誉会員証, 垂幕代, 審査員交通費
会場係補助金	136,000	144,000	総会, 例会2回 (一人8,000円)
学会ビデオ撮影代金	60,000	60,000	総会+例会2回 合計3回分 (20,000×3回)
学会場施設利用料	22,657	18,000	講堂 (総会+例会2回 合計3回分)
学会賞賞金	100,000	100,000	歯学会副賞
事務費 (消耗品)	69,076	70,000	文具・コピー等雑費・会務雑費
事務費 (備品)	0	50,000	
事務員給与	724,320	724,320	52,800×12ヶ月 (月給), 45,360×2回 (交通費)
学術講演補助費	60,000	100,000	
ホームページ作成・管理費	100,000	100,000	
日本歯学系協議会 年会費	50,000	50,000	
日本歯学系協議会 旅費	0	100,000	
その他の	0	0	
支出の合計	3,633,088	3,816,320	
次年度繰越金	5,198,626	4,970,354	

新潟歯学会会則

(名称および所在地)

第1条 本会の名称および所在地は次の通りとする。

- 一 本会は新潟歯学会 (Niigata Dental Society) と称する。
- 二 所在地は新潟市中央区学校通2番町 5274 番地 新潟大学歯学部内とする。

(目的)

第2条 本会は歯学の研究を推進し、会員相互の親睦をはかることを目的とする。

(事業)

第3条 本会の目的を達成するために、次の事業を行う。

- 一 集会の開催
- 二 会誌の発行
- 三 その他本会の目的の達成に必要な事業

(会員)

第4条 本会の目的に賛同するものは会員となることができる。会員を分けて正会員、名誉会員、臨時会員、学生会員、および賛助会員の5種とする。

- 一 正会員 歯学研究者および新潟大学歯学部学生、大学院生、または評議員の紹介による入会希望者
- 二 名誉会員 本会に功勞のあったもので、評議員会により推薦されたもの
- 三 臨時会員 一時的に会員となることを希望する者
- 四 学生会員 新潟大学歯学部学生の入会希望者
- 五 賛助会員 本会の目的に賛成し、本会に対して相当の寄付をしたもの、または団体

(入会)

第5条 正会員、臨時会員あるいは学生会員になろうとするものは、その年度の会費を添えて、所定の申込書を本会事務局に提出しなければならない。

賛助会員の入会は評議員会の承認を経なければならない。

(退会)

第6条 会員で退会しようとするものは、その旨を事務局に届け出なければならない。ただし、既納の会費はこれを返還しない。

(会員の権利と義務)

第7条 正会員および名誉会員は会誌の配布を受け、会誌に投稿し、本会の開催する集会に出席して、研究発表を行うことができる。

臨時会員および学生会員は会誌に投稿し、本会の開催する集会に出席して、研究発表を行うことができる。

賛助会員は本会の発行する会誌の配布を受ける。

2 会員は所定の会費を前納しなければならない。ただし、会員が学生あるいは歯学の研究のために来日中の外国人留学生である場合、またはその他の事情がある場合には、理事会により、一部を免除することができる。

名誉会員は会費の納入を免除する。

(会員の資格の喪失)

第8条 会員は次の理由により、その資格を喪失する。

- 一 退会
- 二 2年以上会費を滞納した場合
- 三 評議員会により、本会の名誉をきずつけ、または目的に反する行為があったと判定された場合。

(役員)

第9条 本会に次の役員をおく。

- 一 会 頭 1 名
- 二 副 会 頭 1 名
- 三 理 事 数 名
- 四 評 議 員 若 干 名
- 五 幹 事 数 名
- 六 会 計 監 事 2 名

第10条 会頭は歯学部長とし、本会を代表し、会務を総理する。

第11条 副会頭は会頭が指名するものとし、会頭を補佐する。また会頭事故あるときは、その職務を代行する。

第12条 評議員は次のものをもってあて、会頭がこれを委嘱し、本会の運営に必要な事項を審議する。

- 一 新潟大学歯学部教育を担当する分野等から推薦された教員
- 二 新潟県歯科医師会長から推薦された会員若干名
- 三 会頭から推薦された会員若干名

2 評議員の任期は2年とする。

第13条 理事は評議員の互選により選出し、庶務、会計、編集、集会等の任務を分担処理する。

第14条 幹事は各理事により推薦され、理事のもとにそれぞれの実務を分担処理する。

第15条 会計監事は正会員および評議員のなかから会頭が指名し、総会の承認を得るものとする。

2 会計監事の任期は2年とする。

(集会)

第16条 集会を総会および例会とする。

2 総会は毎年1回開催し、諸報告、議事、学術上の講演、討論を行う。

3 例会は毎年数回開催し、学術上の講演、討論を行う。

第17条 集会における学術上の講演は、本会会員および本会の要請したものに限るものとする。

(会誌)

第18条 本会は会誌として、新潟歯学会雑誌 (Niigata Dental Journal) を年2回発行する。

第19条 新潟歯学会雑誌の編集および投稿は、別に定める規定による。

(会計)

第20条 毎年度の予算決算は評議員会の承認を経て、総会に報

告されるものとする。

2 本会の会計年度は1月に始まり12月に終わる。

第21条 新潟歯学会賞をおく。

2 本賞の選考規定については別に定める。

(事務所)

第22条 本会は新潟大学歯学部事務局をおく。

(規則)

第23条 本会会則の改正は総会において、出席会員の3分の2以上の承認を必要とする。

付 則

本会は第1回総会において制定され、1968年1月1日より適用する。

改 正

2014年4月19日総会にて一部改正。

新潟歯学会雑誌編集規定

1. 本誌に発表する論文は、本会の目的に達し、未公刊のものに限る。また、本誌への投稿は本学会会員に限る。ただし編集委員長が認めた場合はその限りではない。
2. 本誌の欄を次のように分ける。総説、原著、臨床、臨床病理検討会レポート、最近のトピックス、学会抄録、その他。
 - (1) 総説は編集委員会の依頼によるもので、原則として400字詰50枚程度(図表を含む)とし、掲載料は無料とする。
 - (2) 原著は印刷頁4頁(図表3コ以内)までを無料とし、超過した分および別刷代については、実費を著者負担とする。
 - (3) 総説、原著以外は、印刷頁2頁(図表3コ以内)までを無料とし、超過した分および別刷代については、実費を著者負担とする。
 - (4) 学会講演抄録は新潟歯学会の総会および例会の講演抄録とする。
 - (5) 掲載は原則として受付順とするが、原稿の採否および編集は新潟歯学会雑誌編集査読委員会に一任されたい。

新潟歯学会雑誌投稿規定

1. 和文原稿は400字詰原稿用紙に平かな、現代かなづかいを用い、わかりやすい文章で横書き、楷書でかく。

ワードプロセッサ使用の場合はA4版用紙に25字×45行の1,125字で印字する。

表題、著者、所属(主任、指導者名)を和文、英文でつける。特別な術語以外は、当用漢字の範囲にとどめ、区切句読を明らかにし、改行の際は1字さげて書き始める。

5語以内のキーワード(和語または英語)を記入する。

原著および臨床論文においては目的、方法、結果および結論を400~600字にまとめた和文抄録ならびに250語程度の英文抄録をつける。

原稿と抄録に加え、それらと同一内容を記録した電子媒体(フロッピーディスク、CD、MO)を添付する。添付の条件については別に定める。

2. 英文原稿は、A4版タイプ用紙を用い、ダブルスペースでタイプする。

表題、著者、所属(主任、指導者名)を英文、和文でつける。5語以内のキーワード(英語)を記入する。

なお、原著および臨床論文においては250語程度の英文抄録ならびに400-600字程度の和文抄録をつける。

電子媒体の添付については前記1に準ずる。

3. 原稿は、校正刷りにおいて内容の改正を要しないように充分推こうの上提出されたい。

なお、著者による校正は、原則として2校までとし、その際には字句の著しい変更、追加、削除は認められない。

4. 外人名は原名綴りのままでかき、その他の外国名は原字または片かなでかくこと。わかりやすいブロック体(またはタイプ)とする。

5. 表、図(写真含む)は、それぞれ用紙サイズをそろえてB5版またはA4版用紙を用いて1枚に1点ずつ明瞭に作成し、縮小率を明記すること。図・表挿入箇所を本文欄外に朱書する。図・表の最大印刷寸法は別に定める(投稿の手引きをご覧ください)。

総説におけるカラー写真は1頁までを無料とし、総説以外のカラー写真は著者負担とする。

6. 引用文献は引用順に番号を付し本文のおわりにまとめ、次の記載法による。

雑誌：著者名(欧文名は、Medlineに準ずる)、表題、雑誌名(正式な略誌名、たとえば日本医学図書館協会目録およびIndex Medicusによる誌名を使用)、巻、頁(始めと終りの頁)、年。

1) 藤田恒太郎：歯の計測基準について。人類誌, 61:27-32, 1949.

2) Schultz-Haudt SD and Scherp HW: The production of chondrosulfatase by microorganisms isolated from human gingival crevices. J Dent Res, 35: 299-307, 1956.

単行本：著者名、書名、版、引用頁、発行社、発行地、発行年。

3) 秋吉正豊：歯周組織の構造と病理。274-277頁、医歯薬出版、東京、1968.

4) DeRobertis EDP, Nowinski WW and Saez FA: Cell biology. 4th ed, p 166-185, WB Saunders Co, Philadelphia and London, 1965.

5) 中尾 真：膜の機能。「生体膜の生化学」小田琢三、佐藤了、中尾真(編)、64-65頁、朝倉書店、東京、1969.

6) Bowen WH: Dental caries in monkeys. In advances in oral biology, ed Staple PH, Vol 3, p 185-216, Academic Press, New York and London, 1968.

省略のピリオドは省く。

英文原稿における引用文献も和文原稿に準じるが、和文引用文献は最後に(in Japanese)を付記する。

7. 度量衡の単位は、m, cm, mm, μ m, ℓ , ml, μ l, kg, g, mg, μ g等を用いる。

8. 本誌掲載の著作物の著作権、複製権および公衆送信権は新潟歯学会に帰属する。

9. 原稿の送り先

〒 951-8514 新潟市中央区学校町通 2 番町 5274 番地
新潟大学歯学部内
新潟歯学会編集幹事 宛

投稿の手引き

〈投稿票について〉

論文投稿時に投稿票を添付して下さい。投稿票は、新潟歯学会誌の巻末、あるいは演題登録ページ (<http://www.dent.niigata-u.ac.jp/nds/genkou.html>) の原稿投稿票のサイト (<http://www.dent.niigata-u.ac.jp/nds/genkou.doc>) にありますので記入し、論文と一緒に提出して下さい。特に筆頭著者と連絡担当者が異なる場合は、連絡先を忘れず記入して下さい。また、別刷の希望、著者負担分請求方法についても記入して下さい。

〈承諾書について〉

論文投稿時に著作権に関わる委任承諾書を提出して下さい。用紙は投稿票と一緒に会誌巻末か、原稿投稿票のサイト (<http://www.dent.niigata-u.ac.jp/nds/syoudaku.doc>) にあります。

〈デジタルデータの添付について〉

新潟歯学会では、投稿原稿ならびに抄録と同一内容を記録したデジタルデータを添付することになっております。データは CD-R 保存を基本としていますが、その他の媒体を希望の方は編集係までお尋ね下さい。**メールやホームページからの投稿は、受け付けておりません。**

〈入力・投稿時の留意事項〉

1. ファイルは英文抄録、本文、文献、(付表、付図: MS Word や一太郎の場合) を一つのファイル (保存形式を明記) とした方が便利ですが、付表、付図を別のソフト (MS, Excel, MS Power point, Adobe Photoshop など) で作成した場合は、保存形式を明記して別ファイルとしても結構です。図や写真は、出来れば TIFF 形式で保存し、低解像度に注意して下さい。

ファイルはわかりやすい名前 (投稿者氏名_原稿、投稿者氏名_付表、投稿者氏名_付図など) をつけて下さい。

2. 投稿者の氏名、所属、タイトルおよび記録方式を CD-R 表

面に明記して下さい。投稿データについては、本文は MS Word, または一太郎、表については MS Excel または MS Word, 写真および図は TIFF で作成して下さい。

使用した PC の OS を明記して下さい。

Mac OS 8, Mac OS 9, Mac OS X.

Windows 98, 98SE, Me, 2000, XP (sp を含む), Vista (sp を含む) など。

Windows Vista の場合、字形が変わる、または抜ける文字があります。

OS に関わらず**必ず出力紙 (紙媒体) を添付して下さい。**

3. 事前にファイルの整理を行い、不要なデータが残っていたり、必要なデータが抜けていたり、データの順序がバラバラであったりしないようにして下さい。

4. ファイルのリストを添付して下さい。データの順序が異なる場合は、リスト上に番号をつけて下さい。

5. データは必ずバックアップをとって下さい。

6. 数字・英文は半角で入力し、字詰めは一定にして下さい。

7. 改行マークは、段落の最後のみに入力して下さい。

8. 外字 (JIS 第一水準、第二水準以外の文字) および修飾文字は、出力の際に正しく出ませんので、校正原稿で赤字で記入して下さい。

9. CD-R は、傷めることのないようケースに入れて、ボール紙で包むなどして下さい。

〈図表の大きさについて〉

図・表の最大印刷寸法は、16.7×20.5 cm です。これは、A4 版での最大寸法ですので縮小率記入の際にご注意下さい。

〈英文抄録等について〉

和文論文では、和文題名、和文著者名、英文題名、英文著者名、英文抄録・和文抄録、本文の順に掲載し、英文論文では、英文題名、英文著者名、英文抄録、和文抄録、本文の順に掲載します。原稿の順番をこれに揃えてご提出下さい。

〈別刷りにについて〉

1. 別刷りは、すべて著者負担になります。別刷りの希望数、表紙付きか否か等が投稿時に不明な場合は、必ず最終校正までに申し込んで下さい。

2. 別刷り希望の場合、最少部数は 50 部です。

— 複写される方へ —

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

電話 (03) 3475-5618 FAX (03) 3475-5619

E-mail : info@jaacc.jp

著作権の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接本会へご連絡下さい。

— Notice about photocopying —

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright clearance by the copyright owner of this publication.

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Phone 81-3-3475-5618 FAX 81-3-3475-5619

E-mail : info@jaacc.jp

新潟歯学会の演題募集

下記の日程で令和元年度新潟歯学会例会を開催します。奮ってご応募ください。

なお、発表は歯学会会員に限ります。また、下記につきましては予定となっております。

正確な日程は、ホームページまたは集會幹事へのお問い合わせにてご確認ください。

第1回例会 開催日 令和元年7月13日

演題募集締切 令和元年5月21日

第2回例会 開催日 令和元年11月9日

演題募集締切 令和元年9月6日

演題申込：オンライン登録となります。

<http://www.dent.niigata-u.ac.jp/nds/index-j.html>

新潟大学大学院医歯学総合研究科

顎顔面口腔外科学分野

新潟歯学会集會係

永田 昌毅 (nagatam@dent.niigata-u.ac.jp)

新潟歯学会雑誌の原稿募集

新潟歯学会雑誌を刊行します。奮ってご投稿ください。その際、投稿規定に従うようご注意ください。

第四十九巻二号

発行予定日 令和元年12月6日(金)

原稿締め切り 令和元年10月4日(金)

詳細は追ってホームページで案内します。

(<http://www.dent.niigata-u.ac.jp/nds/genkou.html>)

原稿送付先：〒951-8514 新潟市中央区学校町通2-5274 番地

新潟大学大学院医歯学総合研究科

歯科麻酔学分野

新潟歯学会編集係

田中 裕 宛

(tyutaka@dent.niigata-u.ac.jp)

新潟大学学術リポジトリについて

発行より5年が経過した新潟大学歯学会雑誌の内容は、新潟大学学術リポジトリに登録されます。新潟大学が生産した学術論文等の教育研究成果をサーバに登録・蓄積して広く世界に公開・発信するために登録するものです。会員・著者の皆様にはご理解ご協力のほどよろしく御願いたします。

新潟大学学術リポジトリ・ホームページアドレス

<http://dspace.lib.niigata-u.ac.jp/dspace/>